

平成27年3月6日に、  
**「日本を支える建築技術 建研の取組み—国立研究開発法人スタート—」**をテーマに、**建築研究所講演会を開催します**

建築研究所講演会は、年に一度（毎年3月）、建築研究所の研究成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野の最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しているものです。今回は、テーマを「日本を支える建築技術 建研の取組み—国立研究開発法人スタート—」とし、平成27年3月6日（金）に有楽町朝日ホールにおいて開催いたします。

日時	平成27年3月6日（金）10:30～16:30（開場10:00）
会場	有楽町朝日ホール（東京・有楽町マリオン11階）
テーマ	日本を支える建築技術 建研の取組み—国立研究開発法人スタート—
入場料	無料（事前登録不要です。入場は先着順とさせていただきます。）

## ○ 建築研究所からの講演

建築研究所が取り組んでいる研究課題中心に、これから果たしていくべき役割や、住宅・建築・都市分野における研究開発に関する最新の情報をいち早くご紹介いたします。

建築物の超節水化技術の開発と途上国展開	環境研究グループ グループ長 山海 敏弘
CLTによる木造建築物の設計法の開発（その1）～材料強度等の評価～	建築生産研究グループ 上席研究員 中島 史郎
CLTによる木造建築物の設計法の開発（その2）～構造設計法の開発～	構造研究グループ 主任研究員 荒木 康弘
CLTによる木造建築物の設計法の開発（その3）～防耐火性能の評価～	防火研究グループ 上席研究員 成瀬 友宏
歴史的建造物の保存再生に求められる技術	建築生産研究グループ グループ長 長谷川直司
長周期・多数回繰り返し地震動の地域特性	構造研究グループ 上席研究員 小山 信
特定天井基準の技術的背景と設計上の要点	建築生産研究グループ 主任研究員 石原 直

## ○ 特別講演

さんかい よしゆき  
山海 嘉之氏

今回は、筑波大学大学院教授・CYBERDYNE 株式会社代表取締役社長の山海嘉之氏をお迎えして、「建築におけるサイバニクスの可能性～革新的な支援技術がつくる近未来社会～」というタイトルで特別講演をしていただきます。



1958 年生まれ。工学博士。1987 年筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。日本学術振興会特別研究員、米国 Baylor 医科大学客員教授、筑波大学機能工学系教授を経て、現在、筑波大学大学院システム情報工学研究科教授、筑波大学サイバニクス研究センター長。内閣府 ImPACT : PM。CYBERDYNE (株) CEO。

脳・神経科学、行動科学、ロボット工学、IT システム統合技術、生理学、心理学、哲学、倫理、法学などを融合複合した人・機械・情報系の新学術領域【Cybernetics (サイバニクス)】を提唱した。体に装着することによって人間の身体機能を改善・補助・拡張するサイボーグ型ロボット「ロボットスーツ HAL」を世界で初めて開発し、2004 年に最先端ロボット医療機器・福祉機器の研究・開発・製造・販売を行う未来開拓型企业「CYBERDYNE (サイバーダイン)」を設立。最近の受賞歴は 2013 年 9 月「The 2014 Technology Pioneer」(ダボス会議)、2014 年 4 月「2014 Edison Awards 金賞」、2014 年 5 月「IPO of the Year (トムソンロイター)」など。

## ○ 建築研究所すまいづくり表彰「地域住宅賞」(仮称) 表彰式

我が国のすまいが有する多様な地域性を踏まえた、人と地域に優しく、住みよいすまいづくりを推進するとともに今後の関連研究に活かしていくため、全国から地域の住文化に根ざした取組みを広く募り、未来に向けたすまいづくりへの取組みを表彰します。

※ 詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページでご案内します。  
また、上述の内容については変更する場合がありますので、予めご了承ください。

### (内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 企画調査課

氏名 北田、新見

電話 029-879-0632

029-879-0638

E-mail [kikaku@kenken.go.jp](mailto:kikaku@kenken.go.jp)